



ID Plus: 企業向けパスワードレス認証ソリューション

より高いレベルのセキュリティを提供

グローバル、また国内においても被害が数多く出ているサイバー攻撃手法は数多くあり、ランサムウェア攻撃や標的型攻撃などにより様々被害が出ております。これら攻撃に対し、RSAはアイデンティティに対する対策、強化が重要であると考えております。RSAではアイデンティティに対する対策、強化に向けてID Plusという認証ソリューションをすべてのお客様環境へ導入が行えるよう、保護先である、オンプレミス環境、SaaS環境、また双方の環境に対し保護が行えるハイブリッドでの導入形態で提供を行っております。

RSAでは認証方式として多要素認証（MFA: Multi-Factor Authentication）方式をいち早く市場へ投入しており、様々な認証方式の開発、提供を継続しております。高い利便性、また高いレベルのセキュリティ強度を求められる企業向けのパスワードレス認証ソリューションとして、FIDO認証方式を採用した3つのソリューションを提供しております。

パスワードレスで簡単・安全に

- セルフサービスでの認証情報登録とリカバリ
- リスクベースのシングルサインオン
- クラウド・オンプレの両方の保護に対応

ゼロトラストセキュリティの実現

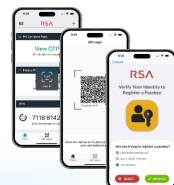
- ID Verification（政府発行IDでの本人確認）
- ID Intelligence（Risk AI / Mobile Lock）
- リスクベースのガバナンス&ライフサイクル自動化



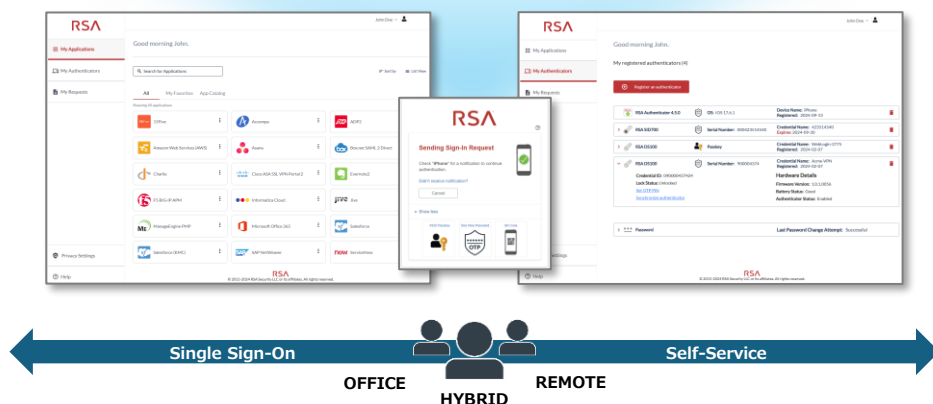
RSA DS100



iShield Key 2 Series



RSA Authenticator App
for iOS / Android



FIDO認証（Fast Identity Online）とは、パスワードを使用せず、安全な認証を実現するFIDOアライアンスが制定した認証方式となります。

FIDO認証を行う際にデバイスバウンドパスキーの方式では、生体認証やセキュリティキーを利用して、デバイス内部で秘密鍵を保管しております。パスワードの漏洩・流出リスクの低減や、リスト型攻撃などに対しても有効となります。認証時に秘密鍵を外部に送信することなく公開鍵暗号方式で認証を行う方式をとっております。また、FIDO認証は公開鍵を登録しているURLでのみ使用が可能となるため、フィッシング耐性を持つ認証方式となります。

RSAが提供するFIDOソリューション

DS 100

DS100は、パスワードレスも提供する、多機能認証ソリューションで、FIDO認証の機能と、RSAが長年提供を行っている、デファクトスタンダードとなるワンタイムパスワード（OTP）ソリューションの利点を組み合わせたハードウェアトークンとなります。



FIDO2とOTP認証を1台のハードウェアトークンで実現

- ・FIDO2認証

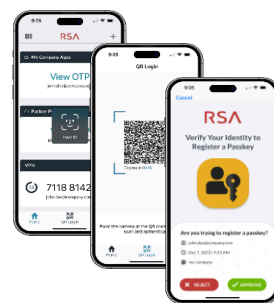
FIDO2認定製品であるDS100は、ハードウェアトークンでの提供により、安全かつ便利なパスワードレス認証を実現します。USBプラグで簡単に接続できご利用いただけます。

- ・OTP認証

接続型および非接続型OTP認証を提供します。プッシュボタンでOTPを液晶に表示し、USB接続時には、プッシュボタンを押すことで、自動入力機能を提供します。

モバイルパスキー（RSA Authenticator）

RSAが提供する認証アプリケーションを利用者所持のモバイルデバイス（iOS/Androidデバイス対応）にダウンロードし、MFAトークン・FIDOパスキーとしてご利用いただけます。



パスワードレスの利便性とエンタープライズグレードのセキュリティを実現

- ・FIDO資格情報（デバイスバウンドパスキー）

DS100認証システムと同様に、RSA Authenticatorアプリに保存されたパスキーはデバイスにバインドされているため、FIDO資格情報がデバイスから外部に漏れたり、クラウドにコピーされたりすることはありません。

- ・FIDO対応

FIDO2 CTAP2.2 Hybrid transportsに対応しております。

iShield Key 2

iShield Key 2は最高のセキュリティ基準を満たすように設計されており、FIPS 140-3 レベル3認定暗号モジュール（証明書4679）に準拠すると共に、FIDO2の方式を採用しております。ID Plusとの連携、もしくはスタンドアロンでの提供が可能となります。



NIST 2.0ガイドラインに準拠した安全なパスワードレス認証

- ・柔軟な使用方法

FIDOパスキー、PIVスマートカード、OATH HOTPの全ては、USB Type-A、Type-Cと非接触型NFCにてご利用いただけます。

- ・ファームウェア更新

ファームウェア更新を行うことが出来るため、利用者は使用しているユニットに対し、新機能やバグ修正を適用することが可能となります。